

歴史的音源とは？

「歴史的音源」とは、歴史的音盤アーカイブ推進協議会(HiRAC)がデジタル化した、1900年初頭から1950年頃までに国内で製造されたSP盤及び金属原盤等に収録された音楽・演説等の音源です。
約5万音源すべてを桜図書館で聞くことができます。

何が聴けるの？

落語、長唄、楽曲(ギター、琴、尺八等)、歌劇、浄瑠璃(義太夫節、清元節、常磐津節)、浪花節、歌謡曲、講演、ジャズ等、様々なものを聴くことができます。

ジャンル別に音源を検索することもできます。

音源提供者は、日本放送協会(NHK)、日本コロムビア、ビクターエンタテインメント、キングレコード、テイチクエンタテインメント、ユニバーサル ミュージック(EMI ミュージック・ジャパン分を含む)です。

利用するには

桜図書館内の利用者用インターネット端末でご利用いただけます。
ご希望の方は、案内カウンター職員にお声がけください。
なお、複製やダウンロードはできません。ご了承ください。

音源紹介を読む

テーマごとの解説もあります。SPレコードが出された当時の時代背景や、楽曲、作詞者、作曲者について紹介しています。紹介された音源を聴くこともできます。

- ♪ 邦楽の近代—義太夫節を中心に— 大西秀紀(京都市立芸術大学非常勤講師)
- ♪ 寄席話芸のSPレコード 岡田則夫(大衆芸能研究家／SPレコード収集家)
- ♪ 大衆歌謡を築いた人たち 倉田喜弘(芸能史家)
- ♪ 政治・戦争とレコード 郡修彦(音楽史研究家)
- ♪ 日本人とジャズ 毛利真人(音楽評論家)